

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ウィザード	Lv.1:		レベル	11
サポートクラス	ニンジャ	Lv.1:	ニンジャ	性別	男
称号クラス				年齢	二十代半ばくらい
種族	エルダナーン			境遇	放浪者
出自 (効果)	傭兵			目標	友情

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	8	18	21	9	26	7
ボーナス	4	2	6	7	3	8	2
クラス修正	0	1	1	3	2	1	0
他修正							
能力値	4	3	7	10	5	9	2

HP	84
MP	131
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	アブソリュートスタッフ	至近	-1	8	0	0	0	0	0
左手	(当然の炎)								
頭部	メイジハット					2			
胴部	パニッシュローブ				-1	6	-5		
補助	トラベラーズマント					2			
装身具	究極忍具								
能力値			3	0	7	0	9	12	9
スキル	ギルド：防衛部隊					4	4		
その他									
総計(右)			2	8					
総計(左)					6	14	8	12	9
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	10			10	+ 2 d
アイテム鑑定	10			10	+ 2 d
魔術判定	10			10	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
バックパック	
ベルトポーチ	
小物入れ	
ポーションホルダー	
MPポーション	
HPポーション	
霧のMPポーション	
万能薬	
ハイHPポーション	
霊水	

現在重量： 17  
 最大重量： 19  
 所持金： 20  
 預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フォティテュード	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果： 作成時に最大MP+5								
マジシャンズマイト	★	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果： 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
ファイアボルト	★	6	メジャー	20m	単体	魔術		
効果： 火魔法2D+10								
ファイアロード	5		パッシヴ		自身		上限5	
効果： 火魔法ダメージ+SL*4								
エンハンススペル	5	4	マイナー		自身	自動	上限5	
効果： メイン魔法ダメージ+SL*4								
マジシャンズマイト	5		パッシヴ		自身		上限5	
効果： 魔法ダメージ+SLD								
コンセントレイション	★		パッシヴ		自身			
効果： 魔術判定+1D								
ハンドシンボル：爆	1	4	ムーブ		自身	自動	シ-ン1	
効果： 単体→範囲選択								
リゼントメント	★		効果		自身	自動	シ-ン1	
効果： 単体、ダメージ+CL*10								
ホーミングヒット	★		効果		自身	自動	シ-ン1	
効果： 命中判定直前、リアクション不可								
エルダーマジック	★		パッシヴ		自身			
効果： 魔術判定+1D								
エラプション	3	4	セットアップ		自身	自動	上限3	
効果： 炎属性魔法+SLD								
マジックゲイザー	★		パッシヴ		自身			
効果： 魔法ダメージ+1D								
ハンドシンボル：烈	★	3	ムーブ		自身	自動		
効果： XINP終了まで魔術判定+1D								
デスブロウ	3	5	ダメージ直前		自身	自動	シ-ン1上3	
効果： クリ時ダメージ+SL*10								

命中判定4D+10(スペシャリスト中、烈使用でそれぞれ+1D)

エンハンス+インフェルノ→13D+89(インフェルノ30+ロード20+エンハンス20+装備17+2D)※エラプションSL3込

実際強い。

☆特殊パワー カトン・ジツ・ホムラダマ フェイト二点消費、シナリオ一回  
 ムーブアクション。メジャーアクションの対象を、単体→射程内の任意のスクエア1マスとその周囲1マス(選択)に変更する

焰 鳳丸(ほむら おおとりまる)

大陸の何処かにひっそりと存在するという、炎術に長けた忍の一族である「焰」の里出身。  
 里の若者の中でも一際秀でた才能と実力を持ち、いずれ次期当主を任されることは誰の目にも明らか……であったのだが。

「おお、なんと美しい花か……貴女に出逢える日を、私はずっと待ち望んでいましたよ」  
 周囲を悩ませる彼の欠点は、所謂、女癖の悪さ……であった。  
 里に依頼された任務も、女性絡みでなければ即座に断る。選り好みた任務の最中でさえ、好みの女性とすれ違ったならばその場で口説き始める。  
 そんな彼に、里の未来を託そうなどと考える者はいつしかいなくなっていた。  
 しかし本人は何処吹く風、かえって気楽になったと喜び、里を抜け出しては美しい女性を探して回る日々を送っていた。

そして、ある日。  
 街で見かけた獅子のような大男に、彼は大層憤り、嫉妬心を抱く。

